

令和5年度 第1学期終業式 式辞(R5.7.31)

校長 杉本 和博

梅雨明け発表から連日の猛暑が続いています。しかし、そんな中でも、こうして3学年が集まって終業式を迎えられたことを、とても嬉しく思います。

さて、この1学期は、4月6日の始業式と10日の入学式に始まり、2・3年生が79日間、1年生は77日間を共に学校で過ごしました。学習面について言えば、毎日の6時間の授業を通して学力を付け、中教研学力調査、全国学力・学習状況調査、期末考査、それに加え3年生は「到達と確認」、これらのテストによりその定着を確認できました。そしてそれらのテストに臨む過程では、学習をより深められました。また、宿泊学習や修学旅行等の学校行事により、集団行動や探究型の学習に付いても学びを進めることができました。更に部活動面では、群体、新川地区大、県選、県体、各種コンクールや発表会への参加を通して他校からも多くを学び、より高いステージへ上れた人もいたと思います。

ところで、この中には4月の始業式や入学式で、私が伝えたことを覚えている人もいますよね。始業式で2・3年生には、大谷選手の例を挙げ、大きな目標も幾つかの小さな目標に分けることで、その達成に近づけることを伝えました。また入学式では1年生にお願いを2つしました。1つは挨拶をすること、そしてもう1つは小6で見せた力を遠慮なく発揮することです。

そこで皆さんに聞きたい、この1学期で成長できましたか？

はっきりと「成長できた」と断言できる人は少ないかもしれませんが、「そこそこは成長できた」という人はいることでしょう。しかし一方、この1学期間を「ただ時間が過ぎただけ」という人もいます。もしそういう人でも、心のどこかに「このままじゃいけない」という思いがあれば、明日から始まる27日間の夏休みが充実した期間となるよう、もう一度自分の目標を確認し、それから小さな目標を作り順番に達成していきましょう。1学期に比べれば夏休みはその1／3の期間ですが、自由にできる時間はかなり多いはずです。28日目の始業式では、今より成長した姿を見せてください。期待しています。